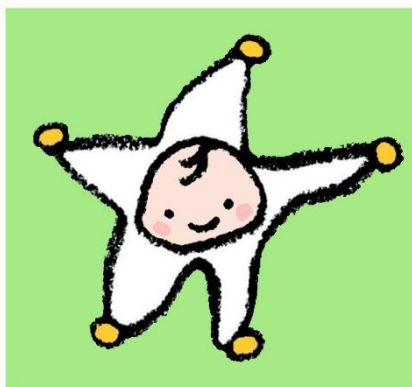


健やか親子21推進に向けた 取組について



健やか親子21

健やか親子21(第2次)推進協議会
テーマグループ幹事代表

健やか親子21(第2次)推進・連携体制イメージ図

すべての子どもが健やかに育つ社会の実現



健やか親子21

(重点課題①)
育てにくさを感じる親に寄り添う支援(5指標)

(重点課題②)
妊娠期からの児童虐待防止対策(12指標)

(基盤課題A)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策(16指標)

(基盤課題B)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策(11指標)

(基盤課題C)子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり(8指標)

〈健やか親子21推進協議会〉

「健やか親子21(第2次)」に関する主要課題に対する
取組について、専門的立場から効果的な調整・推進を図る

总会
(全団体が
参加)

運動方針等重要事項の決定

幹事会

○テーマグループ
ごとに団体同士
が連携して取組を
推進する

1
情報
発信

2
育児
支援

3
虐待
防止

4
調査
研究

○各団体内で「健やか親子21」に関連する取組を実施
参画団体(87団体)

〈応援メンバー〉

○「健やか親子21」へ
の参加意思表示

○趣旨にあった取組を
行う(情報発信等)

サロン
(情報交換の場)

運営・支援

事務局(小学館集英社プロダクション)

○協議会の運営
○啓発・普及・情報発信

申請
受付

〈アワード〉

○先進的で優れた企業・団体・自治体の取
組を表彰する

〈全国大会〉

主催:国、都道府県、母子愛育会、
母子保健推進会議、日本家族計画協会
○全国から母子保健関係者を集め母子保健
の諸問題の研究討議する
○母子保健事業の推進に功績のあった個人
及び団体を表彰する

〈地方公共団体〉

市町村

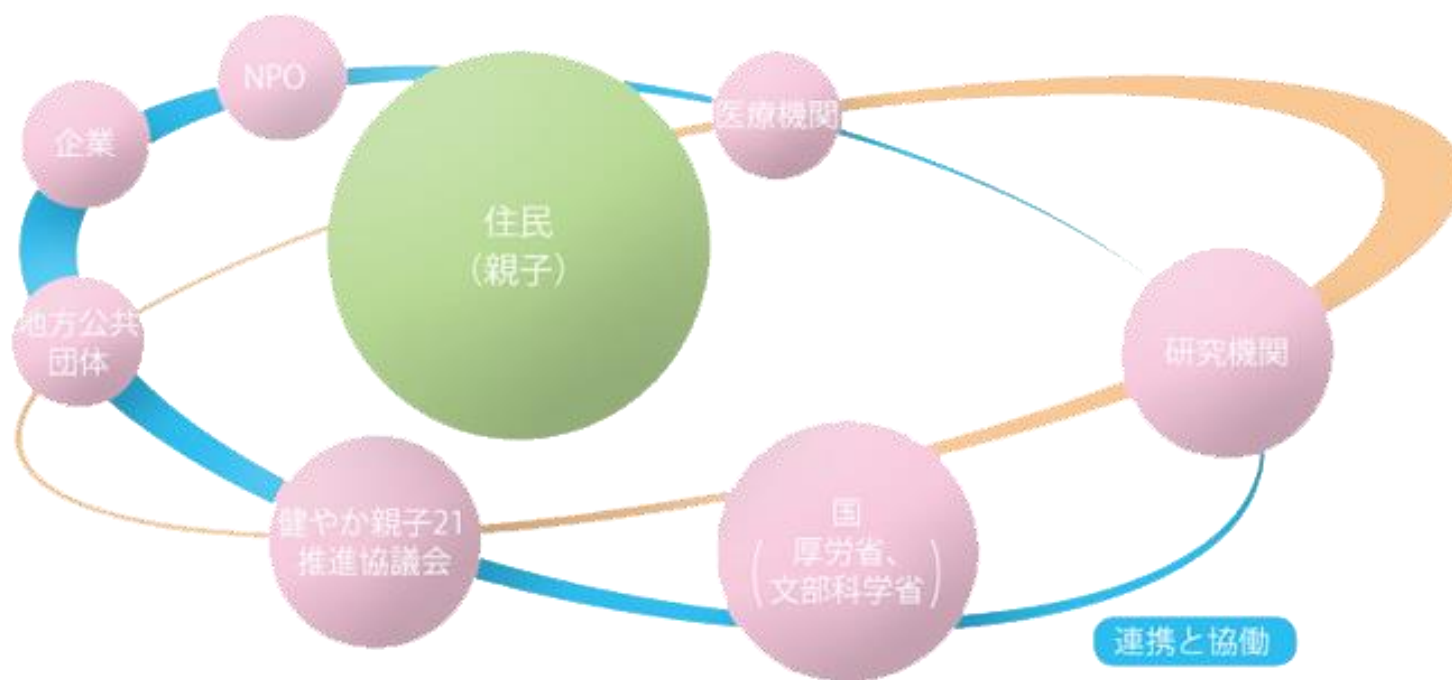
都道府県・
政令市・特別区

関係省庁

文部
科学省

厚生労働省子ども家庭局母子保健課(運動全体の企画・立案・進捗状況管理等)

健やか親子21推進協議会と企業メンバーの連携



これまで「行政関係者」と「健やか親子21推進協議会」が中心となって、進めてきた体制から、**幅広い分野の多様な関係者と連携して取り組むこと**で、「健やか親子21(第2次)」の国民運動を更に強化していく。

公益社団法人母子保健推進会議（以下、「推進会議」） と株式会社ロッテ（以下、「ロッテ」）との協働事業

1. きっかけ

推進会議において乳幼児期からの健康づくりの重要性（口腔を含む）の啓発と地域組織の育成支援のための事業の創設を検討

→（公社）日本歯科医師会（推進会議会員団体）より、母子及び歯科保健に関心のある企業としてロッテを紹介される。

2. 協働に至るまで

乳幼児健診、地域組織活動、健やか親子21全国大会等視察

→現状を認識し新規事業の意図を理解した上で協力体制に。

3. 現在の協働事業

1)「健やか親子21全国大会」の開催 【2005年～】

2)「8020の里賞(ロッテ賞)」の実施 【2009年～】

3)シンポジウムの開催(切れ目のない支援等テーマ/年3回)【2012年～】

事例

「健やか親子21全国大会」の開催

「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」の実現にむけて

母子保健関係者とともに母子保健の未来を考え、関係者のつながりを深める全国大会

ロツテ

全国大会の趣旨に賛同し支援

- ・大会にかかる分担金の負担
- ・大会準備・運営にかかる経費の分担
- ・併設集会開催経費の分担

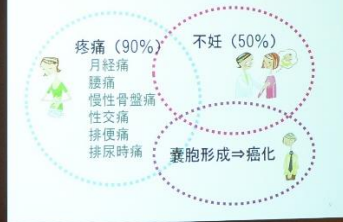


主催：厚生労働省・開催県(市)・(社福)母子愛育会・
(一社)日本 家族計画協会・
(公社)母子保健 推進会議

内容：功労者表彰・特別講演・シンポジウム・
各団体主催併設集会等

* 平成29年度は宮崎県で開催、
3日間で 延べ1,800名の母子保健関係者が参加

子宮内膜症



事例

「8020の里賞（ロツテ賞）」の実施

乳幼児期からの健康づくりと地域組織活動のさらなる活性化を目的とした顕彰事業

受賞基準の考え方

- ・行政、専門職、関係機関と連携が密であり今後の活動の発展が期待できること
- ・対象者の興味、関心をひきつける創意工夫があり、結果、行動変容に結びつけていること
- ・地域の活性化や連携の構築、拡大につながっていること

○活動の一層の発展のために

- ・優秀賞、佳作賞、奨励賞を受賞した団体・自治体は、表彰状を再度首長から授与。
- ・自治体の広報誌、ケーブルテレビ、地元紙に掲載



上：高岡市母子保健推進員協議会の
むし歯予防啓発のエプロンシアター

受賞自治体をロツテ責任者とともに視察し、首長を表敬

左：平成28年度優秀賞受賞の下関市
及び下関市保健推進協議会を訪問。
前列左からロツテ責任者、推進会議代表、
下関市長

【目指す健やか親子21(第2次)」の活動テーマ】
基盤課題C

子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり



シンポジウムの開催

むし歯予防の普及啓発、口腔ケアを通じた親子関係の支援の一環として



【内容】

妊娠期からの切れ目のない支援のため国際シンポジウム(H29年度はフィンランドからネウボラの研究者を招聘)等年3回実施。

ロッテが妊産婦及び乳幼児期からのむし歯予防として取り組むキシリトールの効用に関する講演も実施。

【目指す「健やか親子21(第2次)」の活動テーマ】

* 基盤課題A 切れ目ない妊産婦・乳幼児 への保健対策

* むし歯予防の普及啓発、口腔ケアを通じた親子関係の支援 など



団体と企業との協働の実際とポイント

企業との協働の事業を行うにあたって

- ・団体の事業、協働で行う事業の計画について十分な理解を得る
（場合によっては視察をしていただき理解を得る。）
- ・企業の執行部まで理解していただいた後、具体的な話が始まる。

ポイント

- ・協働で行う事業について企業側にもメリットを出すこと
（企業の社会貢献活動の一環であっても必要）
- ・公益法人としての方針との擦り合わせが重要
（「公共性」と「継続性」の2点について特に留意している。）

シンボルマーク「すこりん」の活用

健やか親子21推進協議会全体で実施できる取組として



関係者それぞれがホームページや啓発資材、シンポジウムでの露出など、随所で活用することで、国民運動としての一体感を持ち、取組の認知度向上につなげていくよう、御協力をよろしくお願いいたします。

事例1

日本小児科学会の取組



日本小児科学会主催



健やか親子21

第8回

園医・看護職・保育士 のための研修会（東京）

日 時

2017年

10月15日 日

10:00~16:00

事前登録制

ホームページから
申込受付中

プログラム

事例2

日本小児医療保健協議会の取組

日本小児医療保健協議会

日本小児科学会
日本小児保健協会
日本小児科医会
日本小児期外科系関連学会
協議会

日本小児医療保健協議会栄養委員会主催 第12回 子どもの食育を考えるフォーラム ～授乳・離乳～

参加費
無料

日時 2018年1月20日(土) 13時00分～17時30分

会場 帝京平成大学冲永記念ホール 東京都豊島区東池袋2-51-4
JR池袋駅徒歩12分、東京メトロ有楽町線東池袋駅徒歩10分

参加 事前申込制、無料(定員700名程度)

申込方法 日本小児科学会ホームページから
お申し込みください。
<http://www.jpeds.or.jp>



*日本小児科学会/日本専門医機構
専門医(新制度)更新単位 III小児科領域講習1単位
*日本臨床栄養協会NR・サプリメントアドバイザー更新のための5単位



プログラム

13:00	開会の挨拶
13:05	
13:05	第一部 新しい授乳・離乳の支援ガイドについて
14:05	13:05～13:35 授乳の支援 演者：清水 俊明(順天堂大学小児科)
	13:35～14:05 離乳の支援 演者：堀 ちはる(札幌医科大学栄養科学部健康栄養学科)
14:05	第二部 乳児期の食を支える機能
15:15	14:05～14:40 子どもの摂食嚥下機能の獲得 演者：弘中 祥司(昭和大学産学部スペシャルニーズコース産科学講座口蓋衛生学部門)
	14:40～15:15 排便機能の発達と役割 演者：内田 恵一(三重大学医学部附属病院小児外科)
15:15	休憩
15:25	
15:25	第三部 乳幼児期の食の安全
17:20	15:25～16:05 イオン飲料水の多飲によるビタミンB1欠乏症 演者：奥村 彰久(徳島医科大学小児科)
	16:05～16:45 食物アレルギーと離乳食の進め方 演者：海老澤 元宏(国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー・性疾患研究部)
	16:45～17:20 子どもにおける食品安全対策、表示・教育について～乳児ボツリヌス症を教訓に考える 演者：吉池 信男(青森県立保健大学健康科学部栄養学科)
17:20	閉会の挨拶
17:30	



お問い合わせ先 日本小児科学会事務局 03-3818-0091

